

さん あーる

3Rコラボニュース


Vol.4 (2007.9)

編集・発行 矢板市廃棄物減量等推進会議 問合せ 矢板市環境課 43-6755

矢板市廃棄物減量等推進会議のメンバーが変わりました

この推進会議は、市民・事業所・行政が協力し合い、それぞれの立場から、ごみ減量を推進するための効果的な方法など検討する集まりです。

会議は平成16年5月に設立し今年で4年目を迎えます。委員は、区長会、保健委員協議会、女性団体、商工会、商店会連合会、大規模店、農業団体などのメンバーで構成されています。

石 下 福一郎	目 崎 元 康	渡 辺 武 男	ダイユー矢板店	塚 原 茂
俵 泰 司	星 野 しず子	大 嶋 正 之	伊 東 幹 夫	
木 下 弘 雄	大 野 文 子	塚 原 清 彦	長谷川 健	
鈴 木 讓	寺 田 千恵子	村 松 知 幸	関 谷 敏 江	
赤 羽 陽 一	菊 地 共 子	ヨークベニマル矢板店	沼 田 律 子	

マイはしのススメ

最近ちまたでブームにもなっているマイはし。自分のお気に入りのはしを持ち、食事のときでも個性を出せる、手軽にできるエコ活動として話題になっています。

お弁当でマイはしを使う人は多くなってきましたが、外食ではなかなか・・・食堂やレストランなどで割り箸を出されても、勇気を持って「マイはし持っていますから大丈夫です」とニコリ笑顔でエコ活動しましょう。一膳で一善！

割り箸は間伐材を使っているから問題ないのでは？と思う人もいるかもしれませんが、実は日本で使用されている割り箸の90%以上は輸入によるもので、商業用の木材をわざわざ伐採して作っているのです。地球温暖化防止の観点から見ると好ましくありません。

身近なところで手軽にできるエコ。皆さんもやってみてはいかがでしょうか？



【写真は中村副市長のもの】

素朴な疑問コーナー

「どんな紙が雑紙なの？」

雑紙とは新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック以外のリサイクルできる紙のこと。

とはいっても、その種類は多種多様です。今回の素朴な疑問コーナーは、こんな紙も雑紙としてリサイクルできますよ、というものを紹介します。



【コメント】

窓付き封筒のうち・・・

窓部分がセロファン製のものは切り取って可燃ゴミで出しますが、パラフィン紙のものは切り取らず、そのまま雑紙としてリサイクルできます。

光沢のある紙のうち・・・

たとえば光沢のある菓子箱は一見、コーティングされていてリサイクルに出せないのでは？と思いがちですが、手で破いてみて簡単に破けるようなものはコーティングされていないので（断面部分を見ればわかります）リサイクル可能です。

もちろんこれは菓子箱に限らず、ほかの紙にも当てはまります。雑紙なのかな？と疑問に思った紙は、一度破いてみましょう。

サランラップの芯

これも雑紙としてリサイクルできます。可能であれば切り開いていただいで平らな状態でリサイクルに出してもらえれば助かります。

辞書

雑紙ではありませんが質問が多いので記載します。辞書は雑誌類と一緒に出せます。ただし、カバー部分が紙以外の材質（ビニール等）でできている場合は、カバーをはがしてリサイクルに出してください。

このほかにもリサイクルできる紙はまだあります。これはリサイクルできるのかな？と疑問に思ったら、気軽に矢板市役所の環境課までお問い合わせください。

委員さんからひとこと。

公募委員 沼田 律子

3つのRの実践

その一 リサイクル



写真 実践:沼田委員

身近な分別・再資源化の推進として封書のリサイクルに取り組んでいます。

私の封書リサイクルは、まず二つの紙袋を準備します。A4サイズの封書を入れる紙袋と普通サイズの封書を入れる紙袋というように、大きさに封書を分類し、その中に保管していきます。この紙袋を年に一度整理していますが、これが意外と多くの封書が届いていてびっくりします。(その数、200通以上!!)

封書のセロファン部分は切り離して可燃物へ、また、使用済み切手は寄付ができますので、やはり切り取って保管しています。それらを切り取った封書は、雑かみとして広告チラシ、包装紙と一緒にリサイクル。

封書一枚一枚ではたいしてリサイクルにならないのではないか?と思われがちですが、こうした積み重ねによって大きなリサイクルにつながるのではないかと思います。

委員として、また一市民として燃やすゴミの量を少しでも減らし、リサイクルする様に心がけています。

キャップの回収やっています

ご存知の方もいらっしゃいますが、まだまだ知られていないようですので紹介させていただきます。

ペットボトルのキャップをリサイクルのため回収しています。回収場所は **市役所本館 生涯学習館 矢板公民館 泉公民館 片岡公民館 勤労青少年ホーム** の6ヶ所です。



水洗いなどで汚れを落とし、乾かしてから出して下さい。ご協力お願いします。

こんなことやってま～す！

このコーナーは、ごみ減量に限らず、地球環境に優しい取り組みを行っている、市民、市内のお店、事業所、団体、学校など紹介します。自薦・他薦は問いません。委員又は環境課へご連絡ください。

【寸劇「考えよう環境問題！」～我が家でできるエコ～】

第4回目の「こんなことやってま～す！」は、矢板市女性団体連絡協議会（以下女団連）有志と、矢板生活学校有志による寸劇「考えよう環境問題！」～我が家でできるエコ～を紹介しします。

このシナリオは、マイバッグの推進（レジ袋削減）とゴミの分別という生活に密着したテーマです。（脚本は女団連会長の坪内智子さんの作成です。）

【女団連会長 坪内智子さんのコメント】

今年5月の女団連総会の研修で女団連有志と環境課で第1回目の公演を行いました。そして、6月の片岡公民館・高齢者学級では、矢板生活学校の有志と第2回目の公演を行いました。劇中是有志によるアドリブも飛び出し、また、参加者に分別の実演もして頂き、笑い声も聞こえました。

ゴミ問題は、日常生活において最も身近な環境問題です。

矢板市廃棄物減量等推進会議に出席して、ゴミの減量化と再資源化は社会全体で取り組まないとなかなか進まないと思いました。

マイバッグの推進とゴミの分別を誰にでもわかりやすく、興味を持ってもらえるように環境課と協力して寸劇のシナリオを作成しました。ゴミの分別は、聞いて意識していても実際には実行できず疑問がいっぱいあります。この劇を通して再認識していただけたらと思いました。

また、マイバッグの推進の一環として“包む”道具の一つ“風呂敷”の由来から様々な使い方も知って頂けたらと紹介しました。

矢板市は栃木県内各市のリサイクル率の順位が1位で、ゴミの量も12位ということが「なすしおばらの広報誌」に掲載されていました。すばらしいですね。市民力ででしょうか。ゴミ減量等の情報提供や具体的な実施の呼びかけをしながら環境問題への取り組みを進めなくてはならないと思います。



女団連有志による寸劇
(左から2番目:坪内さん)



生活学校有志による公演を熱心にきく
高齢者学級の皆さん

